

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和2年度）

1. 施設名等

施設名	大分県立総合文化センター(iichiko総合文化センター)	所在地	大分市高砂町2-33
		電話番号	097-533-4000
		ホームページ	https://emo.or.jp/
	大分県立美術館(OPAM)	所在地	大分市寿町2-1
		電話番号	097-533-4500
		ホームページ	https://www.opam.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分市高砂町2-33 平成30年4月1日～令和5年3月31日	県の所管部課 (局・室)	企画振興部芸術文化スポーツ振興課 TEL : 097-506-2057
-------	-------------------	------------------------------------------------------------	-----------------	----------------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成10年8月1日	※大分県立総合文化センター
設置根拠	大分県立総合文化センターの設置及び管理に関する条例	
設置目的	文化の創造と享受の場を提供することにより、県民の多様な文化活動を促進し、もって個性ある地域づくりと潤いのある生活の創造に寄与する。	
事業内容	①センターの施設及び設備の利用に関すること ②音楽・演劇等芸術文化の鑑賞の機会を提供すること ③文化に関する情報を収集し、及び提供すること ④その他、センターの目的を達成するために必要な事業	
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iichikoグランシアタ（大ホール1,966席）</li> <li>・ iichiko音の泉ホール（中ホール 710席）</li> <li>・ iichikoアトリウムプラザ</li> <li>・ リハーサル室・練習室（9室）、映像小ホール、県民ギャラリー、会議室（6室）</li> <li>・ 駐車場（295台）</li> </ul>	
使用料等	※終日利用の料金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iichikoグランシアタ：228,100円～501,800円</li> <li>・ iichiko音の泉ホール：99,700円～223,300円</li> <li>・ iichikoアトリウムプラザ：5,150円～41,100円</li> <li>・ リハーサル室・練習室：3,490円～17,250円、映像小ホール：35,950円、県民ギャラリー：9,250円～10,800円</li> <li>・ 会議室：13,600円～28,900円</li> <li>・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円</li> </ul>	
閉館日	第2・第4月曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）	

設置年月日	平成27年4月1日	※大分県立美術館
設置根拠	大分県立美術館設置及び管理に関する条例	
設置目的	芸術文化創造の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高めるため。	
事業内容	①美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 ②美術品等に関する調査及び研究に関すること。 ③美術に関する情報の収集及び提供に関すること。 ④美術に関する講演会、講座等を開催すること。 ⑤美術館の施設及び設備の利用に関すること。 ⑥学校及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。 ⑦その他、美術館の目的を達成するために必要な事業。	

施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 展示室A アトリウム ミュージアムショップ モバイルカフェ</li> <li>・ 2階 アトリエ 研修室 体験学習室 カフェ</li> <li>・ 3階 展示室B コレクション展示室</li> <li>・ 屋外駐車場（143台、24時間利用可） 地下駐車場（107台、8時～23時）</li> </ul>
使用料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観覧料（コレクション展）：200円～300円</li> <li>・ 展示室A：9,420円～37,700円（終日）</li> <li>・ 展示室B：9,420円～37,700円（終日）</li> <li>・ アトリウム：4,900円～19,300円（終日）</li> <li>・ 研修室：1,200円（1時間）</li> <li>・ アトリエ：1,200円（1時間）</li> <li>・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円</li> </ul>
閉館日	原則として無休（館内点検等のための臨時休館を除く）

#### 4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
【県立総合文化センター】 ホール年間利用率(%) ※グランシアタと音の泉ホールの 利用率の合計を2で除した数	平成29年度	87.0	88.0	101.1%
	平成30年度	87.0	90.9	104.5%
	令和元年度	87.0	81.2	93.3%
	<b>令和2年度</b>	87.0	42.7	49.1%

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
【県立美術館】 来館者数(人)	平成29年度	500,000	648,223	129.6%
	平成30年度	500,000	572,001	114.4%
	令和元年度	500,000	532,307	106.5%
	<b>令和2年度</b>	500,000	256,105	51.2%

5. 施設の利用状況  
【県立総合文化センター】

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	20,101	23,820	15,661	17,837	16,472	19,634	
	平成30年度	16,772	23,339	20,811	20,730	22,469	21,128	
	令和元年度	17,269	16,915	18,358	18,129	23,584	26,064	
	令和2年度	0	0	275	4,811	2,216	7,069	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	29,734	22,488	23,402	9,992	11,040	25,327	235,508
	平成30年度	18,481	21,667	22,181	9,636	18,468	24,648	240,330
	令和元年度	17,369	22,155	18,911	6,806	17,824	298	203,682
	令和2年度	7,456	12,129	5,764	3,264	8,901	9,653	61,538

【県立美術館】

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	28,818	39,115	28,048	95,749	188,184	56,172	
	平成30年度	33,564	43,141	32,298	35,142	50,320	43,271	
	令和元年度	47,793	48,692	38,894	50,431	82,513	44,617	
	令和2年度	3,331	4,432	9,068	17,293	37,820	27,679	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	46,384	32,461	29,779	41,275	33,982	28,256	648,223
	平成30年度	71,402	66,758	41,819	51,133	56,780	46,373	572,001
	令和元年度	51,327	40,787	43,737	41,850	41,245	421	532,307
	令和2年度	28,119	19,367	31,783	23,133	24,034	30,046	256,105

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	<p>iichiko総合文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者アンケート(令和3年3月実施):473団体(個人を含む)うち178団体回答(回収率37.4%)</li> <li>②自主公演開催時に公演ごとにアンケートを実施</li> <li>③メール(専用アドレス)、電話、FAX、意見箱(館内6か所)による意見の受付</li> </ul> <p>大分県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設利用者アンケート(令和3年3月実施):43団体うち31団体回答(回収率72.1%)</li> <li>②施設来館者アンケート(随時):館内3カ所にアンケート用紙を設置し、随時回収</li> </ul>
	実施結果	<p>iichiko総合文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると82.6%となり、利用者の満足度は高い。</li> <li>・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「施設・設備が充実」「知名度が高い」「料金が適正」などである。</li> <li>・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると81.4%であり、高い再利用意向を得ている。</li> <li>・職員の対応について、「やや満足」以上が77.5%と昨年度と比較して0.6ポイント減少したが、「普通」を含めると100%と高い評価であった。</li> </ul> <p>大分県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると100%となり、極めて高い評価を頂いた。</li> <li>・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「知名度が高い」「施設・設備が充実」「サービスが良い」などである</li> <li>・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると93.5%であり、非常に高い再利用意向を得ている。</li> <li>・職員の対応について、「満足」が93.6%と昨年度と比較して5.0ポイント増加。コロナ禍の中、利用者との真摯に向き合った結果、高い評価を頂いた。</li> </ul>

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
(センター・美術館)十分なコロナウイルス対策をして欲しい	感染症対策として、管理施設ごとに対策マニュアルを策定し、館内の手指消毒液やサーモカメラの設置、連絡先等の記入、窓口の飛沫防止パネルの設置、更に空気清浄機の設置と空気環境設備を強化するなどをした。利用者へはマスク着用のほか、感染防止策の呼びかけ、財団職員についても対策を徹底した。
(センター)インターネットで手続きができるとうい	会議室等のネット予約については、令和3年4月からメールによる受付を開始し、5月にはセンターHPからのネット予約に対応した。
(美術館)3階出入口のガラス扉が透明で分かりにくく、ぶつかる可能性があり危険。	ガラス衝突防止シールの貼り付けに加え、進入口以外にはベルトパーテーションを設置し、対策した。
(美術館)カフェ、ショップの取扱い商品を増やして欲しい。	カフェでは企画展と連動した期間限定メニューなど12種類の新規メニューを提供した。ショップでは図録や関連グッズなど企画展に合わせた商品を販売。また令和3年度の実施に向け、新規オリジナルグッズの制作検討を開始した。

## 7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① iichiko総合文化センターと美術館の管理業務に関して、それぞれの施設の特異性を考慮すべき業務を除き、清掃、駐車場等警備、植栽管理等の業務を一括で発注し、スケールメリットを活かした最適な方法で委託した。</p> <p>② センター1階のインフォメーションがセンターと美術館の情報を共有し相互案内をすることで、両施設が一体となった業務を展開し、施設全体のイメージアップと利用者の利便性の向上を図った。なお、3月からは両施設共通の業者に委託し一体業務の強化を図った。</p> <p>③ iichiko総合文化センターでは大分県立美術館の、大分県立美術館ではiichiko総合文化センターの専用チラシスタンド設置、美術館連絡通路に展示ポスターを設置など、両施設の連携による情報提供体制の強化に努めた。</p> <p>④ iichiko総合文化センターと大分県立美術館共通を中心に県内の芸術文化に広く親しんでもらうための「大分県芸術文化友の会びび」について会員拡大に取り組むとともに、様々な芸術文化関連情報の発信やチケット割引等各種サービスの提供を行った。</p> <p>⑤ iichiko総合文化センターで定期的に美術館への誘導を館内放送し、互いの施設の利用促進を図った。</p> <p>⑥ 両施設の駐車場について、片方が混雑した際の誘導を徹底し、効率的運営に努めた。</p> <p>⑦ 施設と駐車場の一体的利用の促進を図るため、センター練習室利用者、会議室、アトリウムプラザ、県民ギャラリーの利用者1名に駐車券1時間分を提供し、駐車場料金の負担軽減に努めた。</p> <p>⑧ iichikoグランシアタをはじめ、センター各施設において、休館日での利用希望に応じて臨時開館を行うなど、利用者のニーズに柔軟に対応することで、利用しやすい施設づくりに努めた。</p> <p>⑨ 美術館の裏側を案内するバックヤードツアーを開催。建築や設備など展覧会以外の魅力を発信し、新たな美術館のファンを開拓した。</p> <p>⑩ 空気環境が整う、5月と10月にガラス水平折戸を開放。オープンカフェや歩行者天国を実施し、美術館のコンセプトでもある「街に開かれた美術館」を体現した</p> <p>⑪ より美術館を楽しんでいただけるよう、美術館来館者に対してOPAMサポーターが建物や展示物を紹介する「館内ガイドツアー」を月曜日と木曜日に実施した。</p> <p><b>【コロナ禍における鑑賞・演奏機会の確保】</b></p> <p>(センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ びび有料会員限定の特別コンサートを実施(7/5、7/24)</li> <li>・ 若手アーティスト公演事業を実施(10/31)</li> <li>・ ジュニアオーケストラ定期演奏会等を県HPで動画配信</li> <li>・ ホールを活用したDVD鑑賞やライブビューイングを実施</li> <li>・ ホール施設利用料の減免 など</li> </ul> <p>(美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂茂氏による講演会等をyoutubeで配信</li> <li>・ 学芸員による所蔵作品等の紹介動画をHP等で配信</li> <li>・ 家の中でできるワークショップ等を紹介</li> <li>・ 修学旅行が中止になった県内学生について、代替施設として積極的に受け入れ</li> </ul>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(ホール機能の優位性を活かした芸術性やオリジナリティの高い自主公演の開催と、利用者に親しまれるiichiko総合文化センターづくり)

イベント等の充実(センター)

- ① 県民ニーズを捉えたバランスの良い年間ラインナップの構築
  - ・オーケストラ、オペラ、室内楽、歌舞伎等を柱とした幅広いジャンルにおいて質の高い舞台公演を自主企画により、主催16公演、共催8公演を実施した。
  - ・オーケストラでは、2020年のベートーヴェン生誕250年のアニバーサリーイヤーにちなみ九州交響楽団をはじめとしてベートーヴェンの交響曲チクルスの公演を開催し、オペラでは『トゥーランドット』(プッチーニ作曲)を、室内楽ではウェールズ弦楽四重奏団によるベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会の最終年となる公演を開催した。また、歌舞伎公演では人気の高い市川海老蔵の「古典への誘い」を上演し好評を博した。
  - ・一方、新型コロナウイルス感染拡大により当初予定していた海外オーケストラ「ドイツカンマーフィルハーモニー管弦楽団」やミュージカル、ジャズ等の公演が中止となったが、感染症対策を徹底したうえで「松田華音ピアノリサイタル」や「九州交響楽団大分公演」などの追加公演を実施した。
  - ・特に、令和2年度は本県が日本の西洋音楽発祥の地である歴史から、新たに「おおいた西洋音楽発祥の地プロジェクト」の取り組みを開始した。バロック音楽に造詣が深くバッハ演奏においては最高の評価を得ている小林道夫氏のチェンバロリサイタルなど、バロック、古典派の曲の公演を行った。
  - ・公演の開催に当たっては、全国公立文化施設協会の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン等に基づき、観客の手指消毒や検温、連絡先の記入等を徹底するとともに、必要に応じて出演者やスタッフ等関係者のPCR検査を実施するなど、観客、出演者、スタッフ等を含め、徹底した感染防止に努めた。
- ② 地元アーティストや芸術団体等と協働した県内芸術レベルの向上に資する公演制作
  - ・本県が西洋音楽発祥の地である歴史を踏まえ、新たに「おおいた西洋音楽発祥の地プロジェクト」を3か年計画として開始した。独立行政法人日本芸術振興会の助成を受けるとともに、NPO法人大分県芸術等との連携により、令和4年度の創作舞台の実現を目指すこととした。
  - ・大分ベートーヴェン・プロジェクト2020として、大分県立緑丘高等学校の定期演奏会や大分チェンバーオーケストラの記念演奏会を共催で開催したほか、大分交響楽団の定期演奏会や別府市フィルハーモニー管弦楽団と協働し、ベートーヴェン交響曲全曲演奏会を開催した。
  - ・オペラ『トゥーランドット』(プッチーニ作曲)では、大分大学附属小学校コーラス部が児童合唱を、バンダでは大分県立芸術文化短期大学音楽科が出演し、地元芸術団体が一流の芸術家と同じ舞台に立つ機会を提供した。
- ③ 全国に発信できる公演や地元芸術団体等への支援
  - ・全国に発信できる公演として、神奈川県民ホール、山形県総合文化芸術館、東京二期会などと共同制作オペラ『トゥーランドット』(プッチーニ作曲)を上演した。
  - ・大分ベートーヴェン・プロジェクト2020の最終公演として、茂木大輔氏指揮の九州交響楽団がフリージャズ界の巨匠山下洋輔氏を迎えた「ラブソディ・イン・ブルー」とベートーヴェン作曲交響曲第7番を演奏した。
  - ・歌舞伎公演として、市川海老蔵主演の「古典への誘い」を開催し、お客様から「大切な日本の芸術を肌で感じる事ができた」などの好評価をいただいた。
- ④ 新たなファン層の拡大に資する普及啓発事業の充実
  - ・初心者でも代表的な舞台芸術に気軽に親しめるよう、青島広志氏の「おしゃべりオペラティックコンサート」や、元NHKアナウンサーで古典芸能解説者である葛西聖司氏による「もっと楽しむための歌舞伎レクチャー」を開催した。また、大分県立芸術文化短期大学音楽科教授で指揮者である森口真司氏や指揮者の現田茂夫氏によるベートーヴェン交響曲のレクチャーを開催した。
  - ・新たな取り組みとして、社会人向けに京都大学人文科学研究所教授の岡田暁生氏による西洋音楽史などの教養講座を設けファン層の拡大に努めた。
  - ・コロナ禍での新たな取り組みとして、来日中止となったパーヴォ・ヤルヴィ指揮、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団によるベートーヴェン交響曲第9番の演奏のDVD鑑賞会を音の泉ホールで行ったほか、日本フィルハーモニー交響楽団のライブビューイングをグランシアタで実施した。ステージ上の大きなスクリーンに、ホールでの豊かな音響が加わり、観客の感想も良好だった。

(県民に親しまれる大分ならではの特色ある美術館づくり)

- ① 「出会い」をテーマにした新たな視点に基づく県民ニーズを捉えた展覧会の開催・誘致
  - ・自主企画展として、5月～7月には、当館の設計者で、プリツカー賞受賞者の坂 茂氏の活動の全貌を紹介する「坂茂建築展仮設住宅から美術館まで」、7月～8月には、大分県立美術館開館5周年を記念して、これまでの公演や企画展のポスター等で振り返る「OPAM5周年の歩み」を翌年度へ延期となった「相田みつを展」に代わり追加で実施、10月～11月には、生誕110年を迎える日田市出身の洋画家・宇治山哲平を紹介する「生誕110年 宇治山哲平にみる『やまとごころ』」を開催し、年度を通じて様々な種類の企画展を開催した。
  - ・また、メディア各社との共催により、7月～9月には「西洋絵画400年の旅-珠玉の東京富士美術館コレクション-」、11月～1月には「MANGA都市TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020」、2月～3月には「びじゅチューン！ なりきり美術館」といった話題の展覧会を開催し、多くの人々が美術館に訪れ展示を楽しむ機会を提供した。
  - ・なお、新型コロナウイルス感染症により、令和2年3月2日～4月5日、4月17日～5月10日は休館するなど、運営に大きな影響があった。
  - ・日本博物館協会の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン等に基づき、引き続き検温、連絡先の記入、入場制限等を徹底するとともに、必要に応じてスタッフ等の関係者のPCR検査を実施するなど感染防止に努めた。
- ② 大分の伝統と文化や、所蔵品の新たな魅力を紹介するコレクション展の開催とその展開
  - ① 所蔵作品の展示
    - ・2か月に1回程度、統一したテーマを設けて展示替えを行い、所蔵作品の魅力を最大限引き出すようなコレクション展示を5回実施した。4月～6月は「美の宝、大分」、6月～8月は「ブラック&ホワイト」、8月～9月は「天国と地獄」、10月～12月は、「新しき美の仲間たち」、12月～2月は「ライブ・イズ・ビューティフル！」を開催した。
    - ・また、昨年度に引き続き企画展のチケットにより、コレクション展を無料で鑑賞できることとし、入場者の増加を図った。
  - ② 所蔵作品の管理
    - ・県の所蔵作品を財産台帳及び情報システムのデータベースにより適正に管理するとともに、展示・保存環境を適正に維持するため、収蔵庫、展示室等の日常的な空調管理、記録を徹底した。
    - ・また、地震や火災に備え、免震装置や防火シャッター等の定期的な管理を行い、所蔵作品の安全対策に万全を期した。
  - ③ 美術品収集
    - ・県が行う美術品等の収集に対し、当財団として大分県美術資料収集委員会や大分県立美術館美術資料評価委員会に専門的な観点から必要な調査等を県と一体となって実施した。(令和2年度実績：購入1点、寄贈8点うち6点は県民3名からの寄附)
  - ④ 美術品の調査及び研究
    - ・美術家や美術品、保存修復、展覧会企画、教育普及、県内及び県ゆかりの美術・工芸に関する調査研究(大分市出身の吉村益信など)を県と一体となって行うとともに、その成果を収集事業やコレクション展に反映させるなど、職員の資質向上も含めた美術館の企画運営に活かした。
    - ・「令和元年度年報」及び「紀要第5号」の編集や自主企画展「生誕110年 宇治山哲平にみる『やまとごころ』」の図録の編集を行った。
    - ・東京富士美術館等と共同して西洋絵画400年の旅-珠玉の東京富士美術館コレクション-の図録を編集した。
- ③ 美術鑑賞の機会を提供するための地域巡回展の実施
  - ・10月14日～21日まで豊後高田市の教育会館を会場に「地域美術館体験講座 in 豊後高田」を開催し、「千年の祈り～美術作品にみる悠久の歴史～」というテーマで37点の作品を展示した。豊後高田市内の保育園・幼稚園、小中学校の全22校を招待したほか、一般向けにも公開し231名が観覧した。
- ④ アトリウムやカフェ・ミュージアムショップを中心とした、多様な価値観を提示する交流拠点としての取組を推進
  - ① アトリウム等の活用
    - ・「坂茂建築展」では、展示室Aでの有料展示に加え、アトリウムを無料展示エリアとし、展示空間を最大限に広げることで展覧会のスケールの大きさを演出。新たな展示方法を示した。
    - ・絵画や彫刻など、芸術作品の展示はもちろん、OPAM5周年記念のトークイベントや「西洋絵画400年の旅-珠玉の東京富士美術館コレクション展」では朝来桂一氏によるヴァイオリンコンサート「MUSIC in MUSEUM」を実施し、更に「日本の生物多様性とその保全」「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」をテーマにした国立科学博物館巡回展、ラグビーワールドカップ1周年記念としてウェールズとの交流イベントを実施するなど、多様な催事を年間通じて実施した。
    - ・アトリウムの利用計画について事前に利用者調整を行った上、空間を最大限に活用できるよう、ショップ、カフェのモバイル機能を活かした、レイアウト変更を実施した。
  - ② 情報コーナー
    - ・美術に関する図書や情報等を紹介する「情報コーナー」において、企画展の内容等に応じて3か月に1回、書籍の入れ替えを行い、蔵書4,000冊の有効活用を努めた。
  - ③ ミュージアムショップ
    - ・株式会社千代田に委託し、企画展と連動したグッズの企画・販売をしたほか、美術館の開館に合わせた営業及び大規模イベントに合わせた臨機応変な営業にも努めるなど、これまでの運営で培ったノウハウをベースにさらなるサービス向上を図った。
  - ⑤ ミュージアムカフェ
    - ・社会福祉法人博愛会に委託し、県産農林水産物をふんだんに使った質の高いメニューの提供や、企画展や季節に応じた定期的な新規メニューの開発を行い、これまでの運営で培ったノウハウをベースにさらなるサービス向上を図った。

イベント等の充実(美術館)

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入額(A)		792,783	780,522	757,169	764,949
内 訳	県からの委託料	454,179	447,611	453,114	456,386
	利用料金	333,289	327,160	300,229	157,291
	雑収入	5,315	5,751	3,826	151,272
支出額(B)		792,783	780,522	764,110	764,949
内 訳	人件費	199,870	200,126	198,087	200,145
	維持管理費	2,462	2,773	2,677	1,732
	事業費	565,371	552,543	538,034	537,528
	iichikoパートナーシップ履行 事業費	24,000	24,000	24,222	24,444
	サービス改善提案事業費	1,080	1,080	1,090	1,100
収支差額(A-B)		0	0	-6,941	0

9. 施設使用料等の収入状況

県立総合文化センター

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	34,125	23,475	20,365	22,470	20,170	23,210	
	平成30年度	32,676	20,121	19,208	26,448	20,415	20,705	
	令和元年度	35,382	22,773	20,734	20,453	23,727	22,264	
	<b>令和2年度</b>	<b>18,040</b>	<b>529</b>	<b>4,138</b>	<b>9,002</b>	<b>8,605</b>	<b>12,278</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	20,723	21,731	21,542	17,858	18,033	24,997	268,699
	平成30年度	20,334	30,417	23,457	19,038	15,090	22,570	270,479
	令和元年度	24,098	19,132	17,376	17,399	14,766	7,689	245,793
	<b>令和2年度</b>	<b>10,957</b>	<b>10,896</b>	<b>11,382</b>	<b>11,127</b>	<b>7,145</b>	<b>13,540</b>	<b>117,639</b>

県立美術館

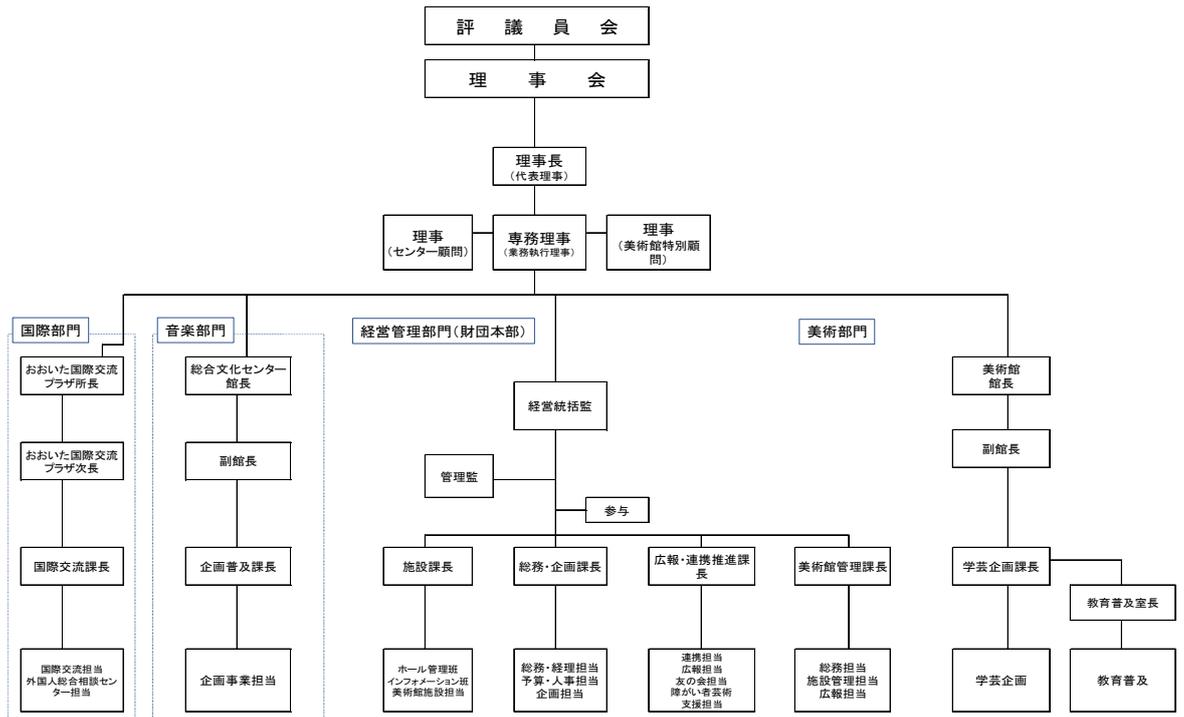
利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成29年度	7,771	2,894	2,034	9,321	11,685	3,449	
	平成30年度	6,963	2,313	1,846	2,491	8,886	5,237	
	令和元年度	7,934	3,013	2,213	4,182	7,899	7,004	
	<b>令和2年度</b>	<b>3,096</b>	<b>-114</b>	<b>629</b>	<b>1,307</b>	<b>7,443</b>	<b>2,724</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成29年度	8,613	2,162	2,743	3,201	6,322	4,395	64,590
	平成30年度	3,499	3,650	3,087	3,598	9,301	5,810	56,681
	令和元年度	2,919	2,379	9,088	2,627	2,820	2,357	54,435
	<b>令和2年度</b>	<b>5,697</b>	<b>1,807</b>	<b>2,605</b>	<b>3,741</b>	<b>4,920</b>	<b>5,797</b>	<b>39,652</b>

10. 指定管理者の管理体制

令和2年度(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団組織図

令和2年10月31日 現在

施設管理体制



職員数 (R2.10.31)	正規職員	パート	嘱託	県から派遣	契約職員	その他	合計	
		10			10	32	4	

1 1. 適正な管理運営に係る主な取組内容

<p>職員の資質・能力の向上</p>	<p>① 財団主催の研修会のほか、外部で開催されるものも含めた各種研修会を活用することにより各職員の職務職責に応じた能力を養成した。</p> <p>② 「職員面談」や「能力評価」「業績評価」を実施して職員の努力や成果を反映することで職員の士気向上を図った。</p> <p>③ 各所属における業務内容を精査した上で、「職員面談」や「能力評価」「業績評価」により、職員の適正配置や効率的な組織づくりに努めた。</p> <p>④ 衛生委員会を定期的に開催するとともに、職員の定期健康診断を実施した。</p> <p>⑤ 「働き方改革」に対応した労働環境の整備として「出退勤管理システム」を令和2年度から導入した。</p> <p>⑥ 「パートタイム・有期雇用労働法」の施行に合わせて、通勤手当など契約職員の手当について改正を行い、待遇改善を図った。</p>
<p>防災に関する研修・訓練</p>	<p>① マグニチュード8クラスの東南海・南海地震発生の切迫性が指摘される中、図上訓練を行うとともに、職員以外の関係者も参加し、実態に即した防災訓練を実施した。また、センターでは複合施設管理者による合同訓練やemoスタッフを利用者役とした訓練も実施した。</p> <p>② 併せて、火災や台風をはじめ、不審者(物)、感染症など、様々なリスクに迅速かつ的確に対応するため、態勢を整えるとともに、日頃から危機管理意識を高められるよう職員に対する研修を行った。</p>
<p>安全対策等</p>	<p>【iiichiko総合文化センター】</p> <p>① 的確な保守点検により、施設、設備の正常な性能を維持するとともに、県との協力体制の中で、改修計画に基づく、両ホールの舞台機構の改修工事を行った。</p> <p>② 令和5年度から予定される耐震天井改修について、県などと協議を重ねた。</p> <p>③ 備品台帳により、備品を適切に管理した。</p> <p>④ 植栽等の維持管理業務については、ホール、アトリウムに配置した自然木への灌水、施肥、剪定、枯葉除去等を行い、適正に管理した。</p> <p>⑤ 清掃業務については、施設利用の快適さと美観の保全のため専門業者による清掃を日常的に行った。</p> <p>⑥ 保安警備業務については、防災センターを中心とした保安体制により、施設内の秩序を維持し、利用者の安全を守った。</p> <p>【県立美術館】</p> <p>① 的確な保守点検により施設、設備の正常な性能を維持するとともに、県との連携により、不具合箇所の確認を継続して行い、安定した展示環境、収蔵環境の確保に努めた。</p> <p>② 備品については、備品台帳により適切に管理した。</p> <p>③ 植栽等の維持管理業務については、美術館の美観維持のため、定期的な植栽等の管理を行った。</p> <p>④ 清掃業務については、美術館としての快適な空間、適切な収蔵環境や展示環境を保つため、高い仕様の清掃業務を行うほか、総合的有害生物管理(IPM)により、生物的防除、化学的防除、物理的防除等を徹底した。特に、美術館管理を行う上で関係者全員の意識統一が必要となるIPMについては、財団だけではなく、警備等の委託業者も含めて一体的な研修を実施した。</p> <p>⑤ 保安警備業務については、夜間の機械警備に加え、24時間常駐の警備員を配置することで、徹底した警備体制を整え、事故、盗難等を未然に防いだ。</p> <p>【主な新型コロナウイルス感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業種別ガイドラインに基づく対策マニュアルの作成</li> <li>・ 館内の手指消毒、サーモカメラ等の設置、窓口の飛沫防止パネル・空気清浄機の設置、空気環境設備の強化</li> <li>・ 利用者及び職員のマスク着用の徹底、入館者への検温・連絡先等の記入</li> <li>・ 県の方針に基づく入場制限の実施</li> <li>・ 必要に応じスタッフへのPCR検査等を実施</li> <li>・ 財団内の対策会議を全14回開催し、対策を徹底</li> </ul>